

WEEKLY REPORT



＜本日のニコニコ発表：瀧上啓太委員長＞

- 浅野久会員：高橋会長 小澤幹事1年間ごろうさまでした
- 高橋一彦会長 小澤直之幹事：長かったような… 短かったような… 1年間に渡る皆様のご協力に只々「感謝」！ ありがとうございます
- 寺川忠男会員 石井新一会員：野村ガバナー補佐を始め高橋会長、小澤幹事、1年間大変お疲れ様でした。今年度最後の家族例会では会員家族で大いに盛り上がり最後の有終の美を飾りました。楽しい一夜でした。ありがとうございます
- 中原光男会員：ロータリーゴルフでベストグロスをいただきました。それと高橋会長、小澤幹事ごろうさまでした。ということでニコニコです
- 並木幸雄会員：野村ガバナー補佐、高橋会長、小澤幹事には1年間ご苦労様でした。すばらしいクラブ運営に感謝です
- 小林弘会員：野村ガバナー補佐、森谷補佐幹事、高橋会長、小澤幹事1年間大変ご苦労様でした。少しの間体を休めて又頑張ってください。先日、当クラブのゴルフコンペに於いて、ハンデと同伴者に恵まれ10年ぶりで優勝いたしました。又競馬にも大当たりでしたのでニコニコさせていただきます
- 高橋清会員：野村ガバナー補佐、森谷補佐幹事、そして高橋一彦会長、小澤直之幹事1年間ご苦労様でした。そしてこれを支えご協力頂いた会員の皆さんありがとうございます。今後ともよろしくお願いたします
- 小菅正彦会員：高橋一彦会長、小澤直之幹事、野村ガバナー補佐、森谷補佐幹事、1年間大変お疲れ様でした。ご苦労様でした。少しの間(何日か)ゆっくりしてください。
- 小菅正彦会員：永い間、多くの温かい友情をいただきました。只々心より感謝申し上げます。本当にありがとうございました。皆様の益々のご活躍を陰ながら祈念させていただきます
- 崎谷延好会員：高橋、小澤年度ご苦労様でした
- 鈴木悦朗会員：高橋一彦会長、小澤直之幹事、野村充ガバナー補佐、森谷補佐幹事、1年間お世話になり、ありがとうございました。また小菅会員、瀧上会員、沖会員もお世話になりありがとうございました。次年度の大川、柳年度もまたご活躍期待申し上げます
- 森谷充伯会員：高橋会長、小澤幹事、お疲れ様でした。
- 小澤盛明会員：高橋、小澤年度 大変お疲れ様でした。楽しい1年でした。ありがとうございます。
- 平田洋一会員：1年間 高橋会長、おつかれさまでした。家族例会すごく楽しかったです。カラオケ企画が寺川会員と聞いて流石！と感心いたしました。社内の親睦でも使えるのでパくらせて頂きます
- 瀧上啓太会員：高橋会長、小澤幹事お疲れさまでした。来年お手伝いできませんが大川エレクト、柳次年度幹事頑張ってください。2011年8月入会依頼皆様には本当にお世話になりありがとうございました。今後ともお付き合い並びにご指導をよろしくお願い申し上げます。
- 小林辰幸会員：㊦ゴルフ同好会初入賞6位 ㊦日本体育大学柏高等学校 サッカーインターハイ出場(娘は女子サッカー部ですが) 高橋会長、ありがとうございます。
- 沖昌彦会員：高橋会長、小澤幹事 1年間お疲れ様でした。私事ですが本日を持ちまして退会することとなりました。4年間という短い間ではありましたが、本当にお世話になりました。皆様も体には十分気をつけて、いつまでもお元気にお過ごしください。
- 大川高明会員：柳孝実会員 高橋会長、小澤幹事1年間大変お疲れ様でした。次年度もおふたりの後をしっかり守って参りたいと思いますので皆様どうぞよろしくお願い致します。
- 5クラブゴルフコンペの打上げにて野村ガバナー補佐から協賛して頂きましたが、全額家族例会の2次会へと持ち越ささせて頂きました。おつりをニコニコします。野村ガバナー補佐ありがとうございました。

社会奉仕基金4,773円

《会報編集委員》大川隆永・野澤新之助・高橋修・森谷充伯

Rotary  2018-2019年度

国際ロータリー 第2790地区 第13グループ

松戸北ロータリークラブ会報



インスピレーションになろう

「四つのテスト」 言行はこれに照らしてから

- 1・真実かどうか
- 2・みんなに公平か
- 3・好意と友情を深めるか
- 4・みんなのためになるかどうか

第2257回 例会 2019年6月26日(水)

- | | | | |
|------------------|---------|-----------|---|
| ■国際ロータリー会長 | バリー・ラシン | ■例会日 | - 毎週水曜日12:30より (第1例会18:30) |
| ■第2790地区ガバナー | 橋岡久太郎 | ■例会場 | - 流山市前ヶ崎717「柏日本閣」 |
| ■第13G アシスタントガバナー | 野村 充 | ■事務所 | - 松戸市八ヶ崎1-11-13 カライズ・ハイツ101 |
| ■松戸北ロータリークラブ会長 | 高橋 一彦 | ■TEL/FAX | - 047-711-5950 / 047-711-5910 |
| ■松戸北ロータリークラブ幹事 | 小澤 直之 | ■Web/Mail | - www.rc2790-12.jp / kanji@rc2790-12.jp |

WEEKLY REPORT

<第2257回 例会プログラム>

		司会 野澤新之助
12:30	点鐘 ロータリーソング斉唱	高橋一彦 会長
12:33	お客様紹介	大川高明 会長エレクト
12:35	会食	
13:00	会長挨拶・報告 幹事報告・挨拶	高橋一彦 会長 小澤直之 幹事
13:10	各委員長成果報告	
	【委員会報告】	
	社会奉仕基金発表	社会奉仕委員会 大塚精一 委員長
	ニコニコ発表	ニコニコ委員会 淵上啓太 委員長
13:30	点鐘	高橋一彦 会長

<クラブ会長挨拶:高橋一彦会長>

皆様こんにちは。先週の夜間家族例会においては淵上親睦委員長はじめ、委員会メンバーのご協力により大変に素晴らしく有意義で楽しい時間を共有頂けたのではないかと感じております。

親睦委員会ははじめ会員の皆様におかれましては大変お疲れ様でした。

さて、2018-19年度の我がクラブ例会も本日にて最終例会となり、次週より新たな年度が始まるわけですが、残念な報告として皆様に退会の案内をしなければなりません。

今年度をもって小菅正彦会員・淵上啓太会員・沖昌彦会員の3名が退会される事となりました。私としてもロータリーに留まらず色々な場面で大変お世話になった方々です。大変に残念ではございますが、理由に関してはクラブとしても理解をして差し上げなければならない内容である事であり、また、いつの日か我がクラブにお戻り頂く事を期待しての退会として会員皆様にもご理解を求めたく思います。

3名の方々には、これまでのクラブへのご尽力に感謝する次第でございます。

ここからは今期を振り返りまして、まずは13グループでの当番クラブとして野村AG・森谷AG幹事に代表をお勤め頂きグループ当番事業において、ご指導とご尽力を戴きました事に改めて御礼を申し上げます。また、会員皆様よりも13グループ事業と自クラブ委員会活動において並行してのお力添いを頂き、松戸北ロータリークラブとしての今期活動を終了できます事に会長として御礼申し上げます。

松戸北ロータリークラブでの活動における舵取り役としては、今期目的の1つであるクラブ原点を見極めるばかりに、厳格な運営に偏り過ぎ、ロータリーライフを楽しむ意味では力が及ばず、皆様に味気無い年度としてお付き合い頂いたのではないかと感じております。

クラブ運営の難しい中で、皆様の優しさ^{にい}とクラブへの愛情が私の心の支えとなりました事もあり、ロータリーでの「寛容の心」という言葉が大変に理解できた1年間となりました。

また、不甲斐ない私に「兄さん！カズ兄！」と親しみを込めて、1年間愚痴も零さずにお付き合い頂きました小澤直之幹事には本当に感謝しております。きっかけは色々ですが、小澤直之会員との出会いからも、信頼の築き合いが自己研鑽を含めロータリーの意味する「友情」に繋がる事も勉強させて頂きました。これからは「良き友」としてロータリーライフを含み、公私において長いお付き合いをして頂けたらと思っております。ロータリーとは、この様な場所なのではないでしょうか！

最後に、次週より始まる大川高明・柳孝実年度が、素晴らしい年度となる事を祈念すると共に、今年度、会員皆様より甚大なる協力を頂戴した事に感謝を申し上げ、最後の会長挨拶とさせていただきます。

「1年間、誠にありがとうございました！」



WEEKLY REPORT

<会報・雑誌・広報委員会:大川隆永委員長>

【目標】

(会報)会長方針である「温故知新」を実践するうえで、過去の会報は大いに役立つものであり、未来に向けた記録づくりとしての重要性を認識し、読みやすく、正確な会報を例会毎に作成する。

⇒会報の写真撮影については高橋修会員が中心となり、校正等の作業は残りの委員会メンバーで役割分担し例会毎に会報を作成致しました。発行が多少遅れることもございましたが、概ね達成することが出来ました。



(雑誌)

クラブ会員が「ロータリーの友」の購読義務を果たし、ロータリー活動の知識向上に努める。

⇒9月が「ロータリーの友月間」という事もありましたので、例会時に「ロータリーの友の購読義務」と「ロータリーの友の歩み」について卓話をさせて頂きました。

(広報)

当クラブの奉仕活動を外部に対してPRすることによって、当クラブの公共イメージ向上に努める。

⇒こちらについては当クラブ唯一の社会奉仕事業である「さつま芋掘り」をマスメディア等を通じて外部に対してPRする事を考えておりましたが、真剣味が足らず未達成で終わってしまい反省しております。

<出席親睦活動・ニコニコ委員会:淵上啓太委員長>

皆様のご協力に感謝申し上げます。



■*山梅吉 (UMEKICHI YONEYAMA) ■

1923年世界855番目のRC(東京RC)を創立し、日本に初めてロータリーを導入した。東京RCの初代会長として、日本のロータリーの発展の基礎を築いてくれた偉大な人である。

WEEKLY REPORT

<プログラム委員会:柳孝実委員長>

今年度の目標は、『年間計画に沿って会長、幹事及び各委員長と綿密に打ち合わせしてプログラムを作成し、スムーズな例会運営を行う。』でした。

また活動計画は、『①本年度会長方針に沿ったプログラムの作成企画。②委員全員で協力し、余裕を持ったプログラム作成を行う。』でした。

今年度のプログラム委員会では①ロータリーの月間テーマ、②会長の掲げられた温故知新というテーマ、③長年行ってきたさつま芋堀終了に伴う新たな奉仕活動模索というテーマに沿ってプログラムを作成いたしました。

プログラムの作成と司会は委員全員で順番に担当し、全員がプログラム委員としての経験を均等に積むことができたと思います。またスムーズな例会運営も行えたとご評価いただければ幸いです。

また新たなチャレンジとしてプログラムの配布を1週早めました。これは翌月の例会のスケジュールを月末には把握しておきたいという会員からの声に応えたものです。従来は第1例会で配布していたプログラムを今年度より前月の最終例会で配布するように変更しました。その結果、プログラム内容が詰まりきらない状態で配布せざるを得ないこともありました。良いチャレンジであったと考えております。

最後に本年度のプログラム委員を共に務めていただいた大塚副委員長、沖委員、野澤委員に感謝申し上げます。そして至らないところは多々あったにもかかわらず、暖かく見守っていただいた高橋一彦会長、小澤直之幹事をはじめ、プログラム運営においてご協力いただきました会員の皆様に感謝申し上げます。お陰様で何とか1年間を乗り切ることができました。本当にありがとうございました。

以上プログラム委員会の活動成果報告とさせていただきます。



<SAA・会員増強・職業分類委員会:沖昌彦委員長>

SAAの今年度の活動につきましては、松戸北クラブが5年に1度のホストクラブになっていたこともあり、イベントがたくさんありました。

良かった点があるとすれば、通常の例会もさることながらこうしたイベントを何とか無事に終えることができたことだと思います。反省点としては、こうした通常例会以外のイベントでの自分の役割を果たす意識が少し足りなかったことです。

最初はこうした役割については、普段の例会で経験することができないことでしたので、どのように段取りを組んでいけばよいのか不安でした。

指示を受けた役割を自分なりに解釈し一生懸命努めているつもりでした。

式次第を作成し、チェックしていただいた時、自分でもチェックしたつもりでしたが、修正の指示がありました。最初は、どこが修正箇所なのかが分かりませんでした。ある個所では「一八」を使い、ある個所では「十八」を使って式次第を作成していました。こうした誤りに全く気付きませんでした。

作成するときはこうした一文字一文字に気を配らなければならなかったんだと教えていただきました。

また時には自分の不安を感じているときにふと飲み誘っていただき自分の不安を解消してもらったりしました。先ほど良かった点としてイベントを無事に終えることができたことだと言いましたが、実際にはこうしたサポート体制がしっかりできていたからこそできたことだと実感いたしました。

会員増強・職業分類委員会では、増強については委員長ではありますが、クラブ全体のことであり、クラブの皆と一緒に考えていければと考えておりました。入会していただいた会員に長く在籍していただくためには、例会を楽しくしていく必要があると思いました。それを実行していくためにはまず北クラブの皆がどのように思っているのかを知る必要があると考え賛否はあると思いましたが、アンケートを実施させていただきました。

ただ、実際にはこのアンケートを生かした活動ができなかったことまた、会員増強についての活動もできず、結果として会員を増やすことができなかったことが反省しなければならないところだと思います。

最後に、委員長として支えてくださった委員の皆様そして、協力してくださった会員の皆様1年間本当にどうもありがとうございました。



<幹事報告・挨拶:小澤直之幹事>

■6月8日に実施された 第38回近隣市町中学校剣道大会の御礼が来ています

本日が幹事の務めの最終日となりました。先週もご挨拶させていただいた通り一年間あつという間でしたが、その中で北クラブの幹事という立場任せられ至らぬ点も数多くあったと思いますが、なんとか高橋会長の側で頑張ってきたつもりではあります。最初は、ほとんどが会長に言われた事をこなしてただけの務めしか出来てないような気がして、本当に自分は役に立っているのか?? と考える時も時折ありました。

しかし、月日が経過するにつれて幹事という意識が強くなったのでしょうか…

クラブ全体を外側から見るという観点も生まれてきような気がします。

良くも悪くもこれだけの会員が集まれば様々な意見やしがらみが生じるのは無理もないと思いますが、イベントごとに係わると会員のほとんどが力を合わせてゴールするという結束力は常に感じました。

これは、ロータリーに入って良かったと思う事の一つでもあります。

特に今年度はホストクラブという13グループでの立ち位置でもあって、入会してから前年度まではIMや研修等のイベントごとには気持ちも入らず、漠然と参加だけでしたが、今年度はそれを作る側にまわったので、これまで全く見えてなかった 年間を通してのロータリーの流れなんかを学習する事も出来ました。

また会長幹事会も含め新しい横の繋がりも出来た事も財産だと思っています。

当初、会長が掲げた「クラブを見つめ直して新しい発想へ繋げる」というテーマには私自身、今でも賛同していますが、これについては今年度幹事を終えても引き続き意識を持って北クラブに少しでも変化をもたらせられればと思っています。

そして会員皆が例会においても懇親会においても楽しみで参加するようなクラブ作りに尽力したいと思います。

次年度の大川・柳年度では、ポジションは違いますが 北クラブを盛り上げるために協力していきますので、何なりと言って下さい。

今年度の皆様のご協力に感謝いたしましてご挨拶とさせていただきます。

一年間どうもありがとうございました。



各委員長成果報告

<青少年奉仕委員会:小林辰幸副委員長>

皆様のご協力に感謝申し上げます。



<クラブ奉仕委員会:正司進委員長>

皆様のご協力に感謝申し上げます。

